



渡辺 久長 議員

## 地元雇用や商店の利用等に結びつけよ

山田町長／可能な限りお願いしていく

**渡辺** 本年度当初予算で土木費を前年度比で34.8%増額し、約7億1000万円、一般会計当初予算の20%を占めています。

このように道路行政に多額の予算を注ぎ込むからには、工事の受注業者に対しても、地元雇用や地元商店の利用などを働きかけているのですか。

これまでの実績と今後の取り組みはどうなっていますか。

**町長** 幹線道路網の構築のためにも道路の整備は必要です。また、道路整備事業に関連して、これまで建設業界の果たしてきた役割は大きく、特に雇用の確保には多大な貢献をしてきたことは事実です。

町内に居住される方々の雇用や町内商店の利用については、事あるごとに強く働きかけていますが、今後も可能な限り工事を請負われた会社に対してお願いしていきます。



町道苗代替線改良舗装工事  
(下北迫・岩作)

## 職員の資質向上をはかれ

塚越副町長／民間職場研修等を取り入れたい

**渡辺**

町民サービス向上のため、

職員の資質の向上が必須不可欠であり、特に新規採用職員（採用後3年以内）については、日常業務や社会規範の指導はもちろんのこと、ボランティア活動や町主催行事への積極的な参加を呼びかけるなど、仕事以外でも町民と接する機会を増やすこと

が重要です。

職員の資質の向上を

はかるため、どのような研修を行ない、また、今後どのような研修プランを立てているのですか。

**副町長**

職員研修は、人材育成基

本方針に基づき、新規採用職員等については各グループリーダー等から行政の基礎的な知識を習得させています。さらに「ふくしま自治研修センター」において、新規採用職員か

ら管理職までの全職員を対象に、知識や意識および能力の習得を目的とした研修などに参加させていきます。

しかし、知識や能力の向上とともに、常に町民の立場で物事を考え、町民と協働して行政運営のできる職員の育成が大切ですので、今後はボランティア活動などへの積極的な参加や、民間職場研修等の導入などを視野に、さらなる研修の充実に努めていきます。

# 在任4年間でどう総括するか

## 山田町長／町民本位の町政を推進した

**鈴木**

町長在任4年間の町づくり

に関する一般的な総括について、就任当初の思いとその達成度はいかがなものでしょうか。未達成あるいは頓挫・中断した事案と、その理由・原因の検証について伺います。

また、次期町政に引き継ぐべき事案はどのようなものでしょうか。

**町長**

私は4年前、町民とともに

歩む町政、すなわち「町民本位の町政」を政治理念に、基幹産業としての農林業の振興や若者定住の土壌づくり、高齢化に対応する福祉対策、さらに、教育環境の充実や交通網の整備などの基本政策を掲げ、多くの町民の皆さまの共感をいただき、町政を担ってまいりました。

私が掲げた町づくりの基本政策は、1歩、1歩着実に推進してまいりましたが、その多くはまだ道半ばであり、

今後、継続して進んでいきたいと考えています。

また、就任当初の思いと、その達成度、さらには、未達成などの事案とその理由などについては、私は基本政策の大半を4年間の任期中に実施または実行に移すことを目標にしていましたが、実行に向けた本町の財政状況は、事のほか厳しく、財源の確保が最優先課題であったことから、私が思い描いていた実行プロセスより、遅れが生じていることも事実です。

しかし、政策を実行に移すべく財源確保にほん走した結果、東京電力株式会社の特段のご理解をいただき、広野火力6号機の着工と運転開始が現実のものとなり、当面の財源は確保されつつあります。

なお、次期町政に特に引き継ぐべき事案については、定住対策や商店街の空洞化対策、雇用対策、環境対策ならびに部分林問題や県道広野・小高線をはじめとする交通網の整備などがあります。



鈴木 正範 議員



建設が進む東京電力(株)広野火力発電所6号機